

第 9 回 S D フォーラム

テーマ:大学職員のキャリアデザイン

大学コンソーシアム京都では、2003 年度より大学マネジメントに関する公開研究会や SD フォーラムに取り組むとともに、2004 年度からは「大学アドミニストレータ」を「大学をとりまくステークホルダー（学生・父母・企業・政府・地方公共団体・NGO・NPO 等）のニーズを把握し、トップマネジメント の意思決定を支えながら、構成員や関係諸機関との調整を行い、大学における目標設定やその具体化を図る能力を持つ職員」と定義し、その育成にむけた研修プログラムを実施しています。また、2006 年度からは、高等教育に関する諸課題と共に、大学の未来を考える取り組みとして「大学みらい塾（旧職員のための大学セミナー、2009 年度改称）」を開催し、2009 年度から、職員の能力開発の動機づけを図るため、若手職員を対象とした「SD ガイドブック」の作成・配布を行い、今年度からは電子ブック化してホームページで公開しております。

9 回目を迎える今年度の SD フォーラムでは、全体のテーマを「大学職員のキャリアデザイン」とし、基調講演を行うとともに、6 つの分科会を設け、先進的な取り組みを行っておられる大学等より事例報告をいただき、大学職員としてのキャリア向上の可能性について多角的に検討します。また、各分科会での検討後には、参加者全員が交流できる機会を設け、この SD フォーラムで得られた成果を今後の個別大学・短期大学における人事政策や人材育成に活かすために情報交換していただくことを目指します。

【開催概要】

日 時：2011 年 10 月 23 日（日）10 時～17 時 30 分

会 場：キャンパスプラザ京都

京都市下京区西洞院通塩小路下る（JR 京都駅ビル駐車場西側、ビックカメラ前）

対 象：大学職員の人材育成や人事政策に関心のある大学・短期大学の教職員

（その他、上記内容に関心のある方でしたらどなたでもご参加いただけます。）

定 員：基調講演 180 人（先着順）、各分科会 30 名（先着順）

申 込 期 間：**加盟大学・短期大学先行申込み受付 7 月 22 日（金）～8 月 4 日（木）**

※加盟大学・短期大学先行申込み期間後も 9 月 9 日（金）までは、受付いたします。

非加盟大学・短期大学等申込み受付 8 月 5 日（金）～9 月 9 日（金）

定員に達した場合は、参加申込みができませんので、ご了承ください。

申 込 方 法：下記の URL、もしくは「公益財団法人 大学コンソーシアム京都」ホームページの「第 9 回 SD フォーラム」のバナーから、「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを入力してください。ご入力頂いたメールアドレスに「SD フォーラム参加申込フォーム」の URL をお送り致しますので、そちらで引き続き入力を行って頂きます。なお、「参加申込フォーム」の URL をお知らせするメールがお手元に届かない場合は、メールアドレスに誤りがある等の可能性がございます。再度、「メールアドレス確認フォーム」に正しいメールアドレスを入力して下さい。また、申込手続き完了後の変更は、受付けることが出来ませんので、ご注意ください。お申込み手続き完了後に「申込み完了メール」をお送り致します。翌日になってもお申込み完了メールが届かない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせ下さい。

7 月 22 日（金）～8 月 4 日（木）の期間は、「公益財団法人 大学コンソーシアム京都」

に加盟している大学・短期大学の先行申込期間となっておりますので、この期間は、非加盟大学・短期大学等の方は、お申込みできません。あらかじめご了承ください。

URL : <https://event.consortium.or.jp/sd9/>

参加費：加盟大学・短期大学 3,000円
非加盟大学・短期大学等 5,000円

参加費は、当日の資料費、報告集、webシステム運営費、通信費等の諸準備費に使用致します。いかなる理由があっても参加費の返金には応じられませんので、予めご了承ください。参加費の振込み後に、やむを得ず参加されなかった方につきましては、後日、「第9回SDフォーラム」の当日の資料等を送付致します。

参加費の振込み：申込み手続きが完了した方には、後日、郵送にて払込票（請求書）をお送りいたしますので、最寄りのコンビニエンスストアで参加費の振込みを行ってください。取扱い可能なコンビニエンスストアは、同封している払込票の裏面を参照してください。なお、銀行（ゆうちょ銀行・ネットバンク含む）等の金融機関からの振込みはできませんので、ご注意ください。また、申込み手続きと参加費の振込みが完了していない方は参加できませんので、ご注意ください。

振込締切日：**2011年9月20日（火）24時まで**

参加証：参加費の振込みが完了した方には、9月下旬に参加証をメールにて送信します。10月4日（火）になっても参加証（メール）が届いてない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせください。当日は、送信された参加証（メール）を各参加者がプリントアウトして持参し、受付に提示してください。

なお、当日、代理の方が参加される場合は、受付にお申し出ください。

その他：報告集は、2012年3月に参加者全員に郵送を予定しています。

申込み・問合せ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部 SDフォーラム事務局（担当：吉田）
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
TEL：(075) 353-9163 FAX：(075) 353-9101 E-mail：sd@consortium.or.jp
URL：http://www.consortium.or.jp/

「公益財団法人 大学コンソーシアム京都」は、月曜日が休日ですので、ご注意ください。

－ プ ロ グ ラ ム －

9時30分～ 受付開始

10時～12時 第1部 基調講演

講演テーマ：大学職員のキャリア形成を大学運営に活かす

講師：秦 敬治 氏（愛媛大学 教育企画室副室長 准教授）

近年、大学の在り方や大学生の実態に加え、職員のキャリア形成についても大きな変化を伴う時代となった。大学や職員を取り巻く環境が急激に変化し悪化する中で、職員自らが輝きながら大学や学生及び地域社会に貢献できるキャリア形成は存在するのであろうか。そのためには、職員や大学は何を行えば良いのであろうか。今回は、これまでの大学業務のためのSDから、職員自らの成長や能力を大学で活かすためのSDという新たな視点を紹介する。

13時30分～16時 第2部 分科会

分科会 A 大学院での学びを活かす 職員の自律的キャリア形成と「教育支援力」強化について

報告者：高橋 真義 氏（桜美林大学大学院アドミニストレーション研究科教授）

「学士力答申」では、職員の学内自主的研修活動や、学会活動への参画、大学院での学習等の自律的キャリア形成の必要性に言及しています。本分科会では、大学院での学びを活かしている事例を紹介します。大学の主役である学生の可能性を、大学の資産とするための教員の「教育力」と職員の「教育支援力」の強化について、全員参加により考えます。

ディスカッション深化のために、事前課題を提出していただきます。

事前課題

テーマ 「大学職員が学び続けることの意義について

学生さんにも分かりやすく説明をしてください」

字数 A4版1枚 800字～1000字程度

締切日 2011年10月20日（木）

*ディスカッションをより深化させたく 参加の全員の皆さまには事前に課題には目を通していただくようお願いいたします

分科会 B 大規模大学の先進事例

報告者：平野 誠 氏（関西大学総務局次長）

職務遂行能力を引っ張り上げる成果主義 ～大学における目標管理制度の“功罪”～
関西大学では、成果主義の観点から目標管理制度を導入しました。民間企業からは人件費抑制の道具としての悪評ばかりが聞こえてくる成果主義ですが、関西大学では、上司と部下が十分な話し合いを通して共通の着眼点・尺度を持ち、PDCAを回すことで職務遂行能力を開発・向上させることに主眼に置きました。

分科会では、9年間の運用で得た“功罪”も披露しながら、大学職員に最適な成果主義を共に考察したいと考えています。

分科会 C 中小規模大学の先進事例

報告者：山崎 学 氏（大谷大学総務部事務部長）

中小規模大学のキャリア形成の取組みと課題

大谷大学では2002年に事務局再編を行い約10年がたちます。その間、大学の状況も大きく変わり、何度かの見直しを行い今日に至っています。特に、派遣・業務委託など非正規職員の採用に伴う、専任職員の役割の変化があげられます。職員の意識改革をポイントに職員の育成（キャリア形成）の取組み状況や課題を紹介すると共に、参加者の皆様からもヒントをいただきたいと考えています。

分科会 D 「大学職員の組織間キャリアー中途採用者をいかに活用するか」

報告者：三輪 卓己 氏（京都産業大学経営学部准教授）

民間企業などでの勤務経験を持つ大学職員のキャリアに焦点を当て、何人かの事例を検討することにより、大学が中途採用者を有効に活用し、育てていくためのマネジメントを展望します。

分科会 E 先進的企業のケーススタディ ～自立的キャリア開発と次世代経営幹部の育成～

報告者：六車 忠裕 氏（日東電工株式会社）

ビジネス環境の大きな変化を受け、世界で活躍できる人材を育てることが企業の重要課題になっています。BtoBビジネスを展開する日東電工（株）では、MBOに基づく実力等級制の人事処遇制度と連動した人材育成制度を導入して、社員が自立的にキャリアを選択し、変革に対応し果敢にチャレンジできる人材の養成を行っています。意図的な次世代幹部養成を行う「日東 University」の活動とあわせて紹介致します。

分科会 F 大学職員のキャリア形成を大学活性化に繋げる

報告者：倉部 史記 氏（株式会社アドミッションズオフィス プロデューサー）

大学職員のキャリア形成については、人事異動や研修制度など、組織全体のあり方を整え実現していくトップダウン型と、職員一人ひとりの日常から少しずつ構築していくボトムアップ型、この二つのアプローチがあります。ここでは、特に後者について考えます。制度が整わなくても生きいき働く、少しずつ身の回りから大学を活性化する、その中で自分のキャリアを積み上げていく、そんなキャリアの作り方について考えます。

16時15分～17時15分 第3部 交流会

2階ホールにて、立食形式の交流会を開催します。